食品ロス削減　資料

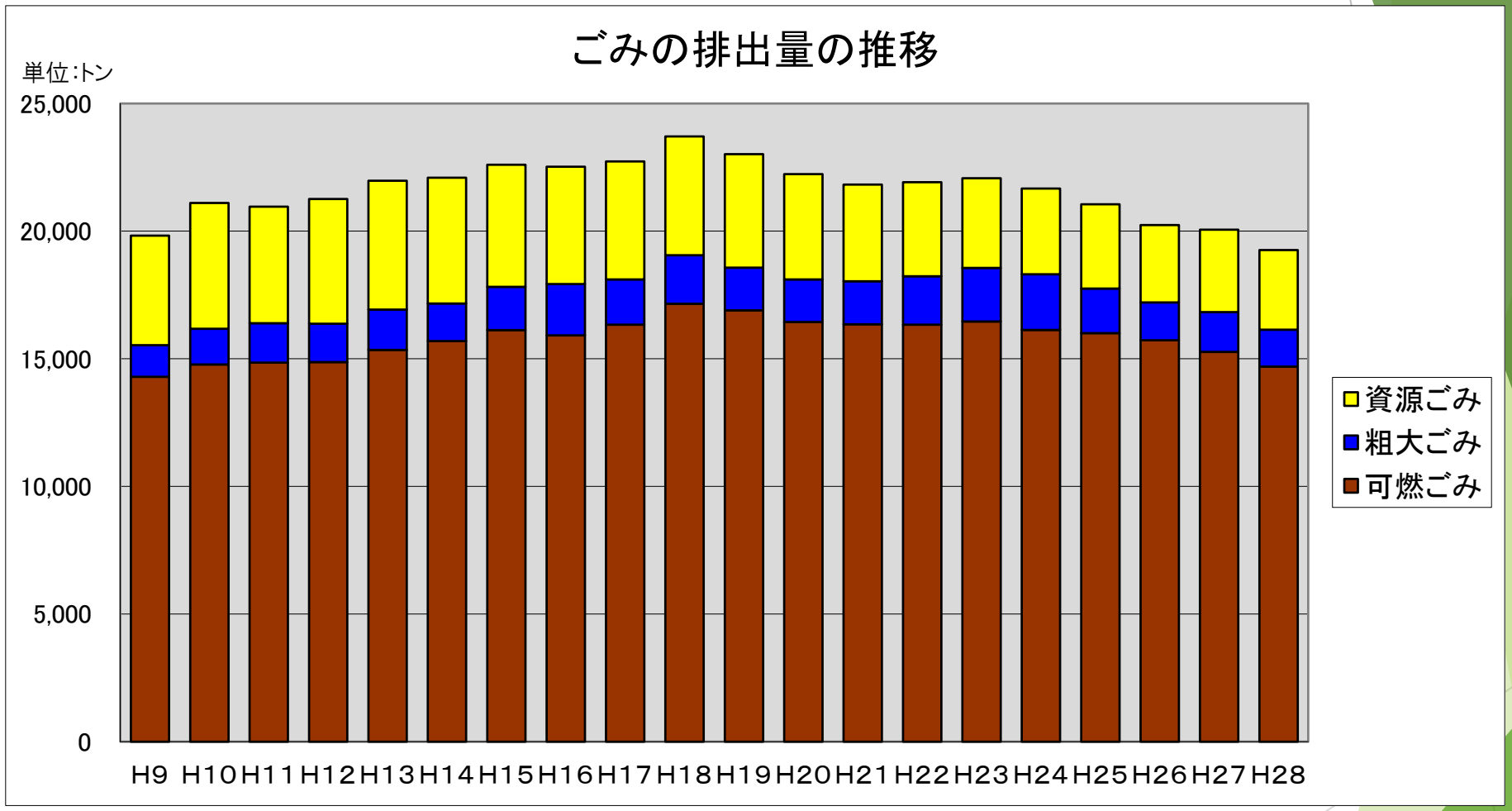
NO-FOODLOSS PROJECT

消費者庁愛称「ろすのん」

まちづくり研究会環境関連分科会

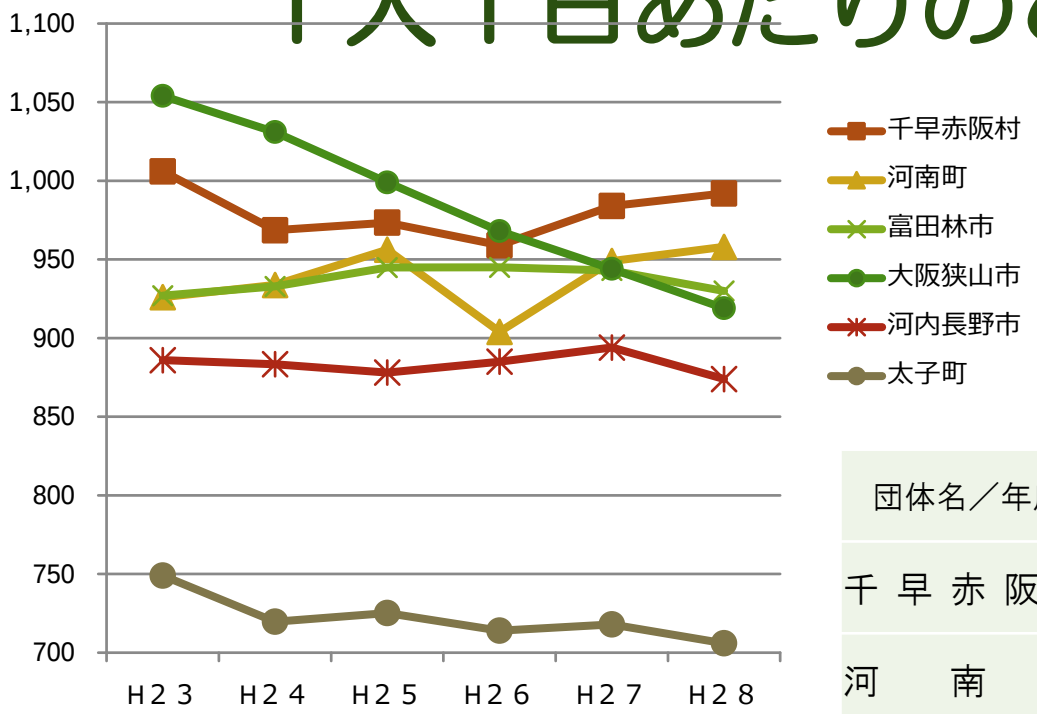
平成30年8月24日

１．大阪狭山市ごみの排出量



本市のごみ排出量は、平成１８年度にピークを迎え、近年は微減、微増を繰り返していましたが、平成２４年度からは安定して減少しています。

２．南河内地域における１人１日あたりのごみ排出量



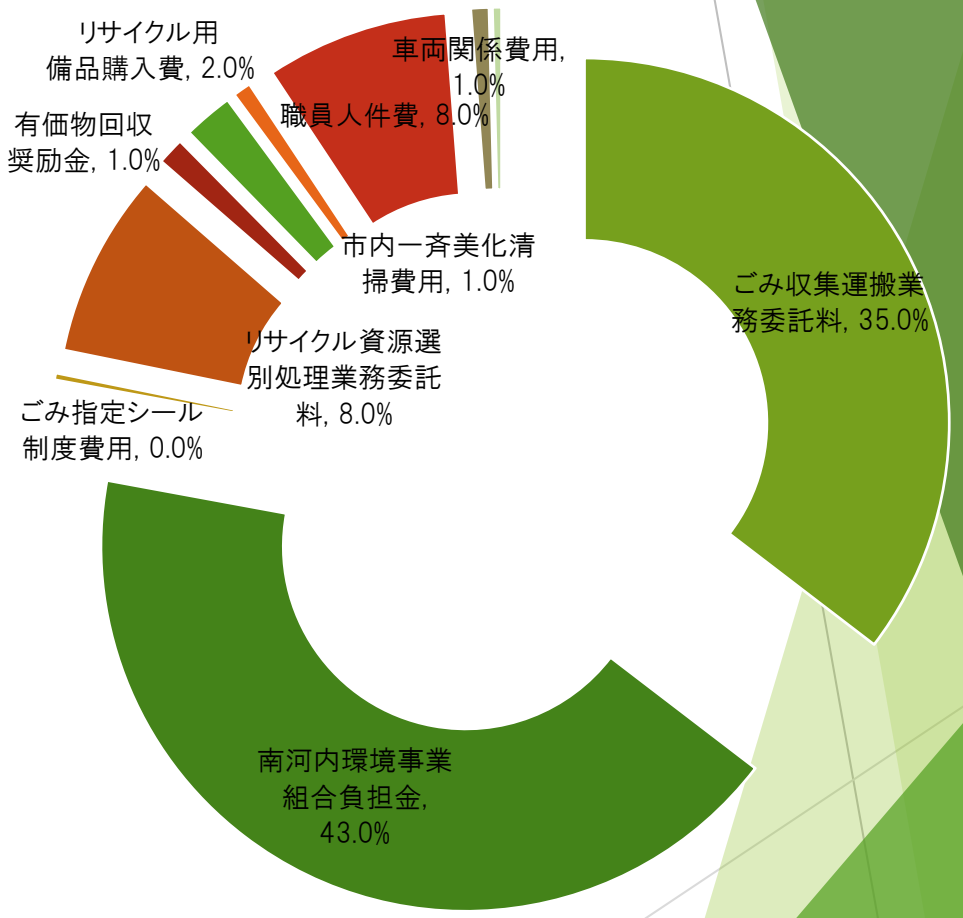
単位：g（1人1日当たり）

団体名／年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28
千早赤阪村	1,006	969	973	959	984	992
河南町	926	934	956	904	949	958
富田林市	927	933	945	945	943	930
大阪狭山市	1054	1034	999	968	944	919
河内長野市	886	883	878	885	894	874
太子町	749	720	725	714	718	706
地域平均	929	925	923	917	918	901

3．ごみ処理にかかる経費

項　　目	平成28年度	構成比	主な内容
焼却ごみ処理費用	599,272,235	78.0%	
ごみ収集運搬業務委託料	271,085,870	35.0%	生ごみ収集運搬業務委託料
南河内環境事業組合負担金	325,779,177	43.0%	組合負担金
ごみ指定シール制度費用	2,407,188	0.0%	ごみシールの封入、郵送費用
資源ごみ処理費用	90,240,747	12.0%	
リサイクル資源選別処理業務委託料	63,133,507	8.0%	カン、ビン、ペットボトル、その他プラの選別処理
有価物回収奨励金	9,289,800	1.0%	古紙等の地域集団回収奨励金
生ごみ減量化等処理器購入補助金	83,000	0.0%	生ごみ処理器等の購入補助金
家電リサイクル費用	500,000	0.0%	家電リサイクル業務委託料、ストックヤード借上料
リサイクル用備品購入費	17,051,040	2.0%	リサイクルボックスの購入
牛乳パック回収費用	183,400	0.0%	牛乳パックの整理・運搬、作業所費用
市内一斉美化清掃費用	5,947,360	1.0%	収集・分別・運搬業務委託料、地区報償費
職員人件費	62,182,276	8.0%	収集員人件費
車両関係費用	5,944,301	1.0%	塵芥車借上料、燃料費、修繕料、車検料等
事務関係費用	2,683,533	0.0%	清掃、ごみ減量関係事務費
ごみ処理費用　合計	766,270,452	100.0%	

単位：円



リサイクル資源等売払収入	11,879,919	スチール、アルミ、ガラス、牛乳パック、金属類等

4．ごみ減量による経費削減

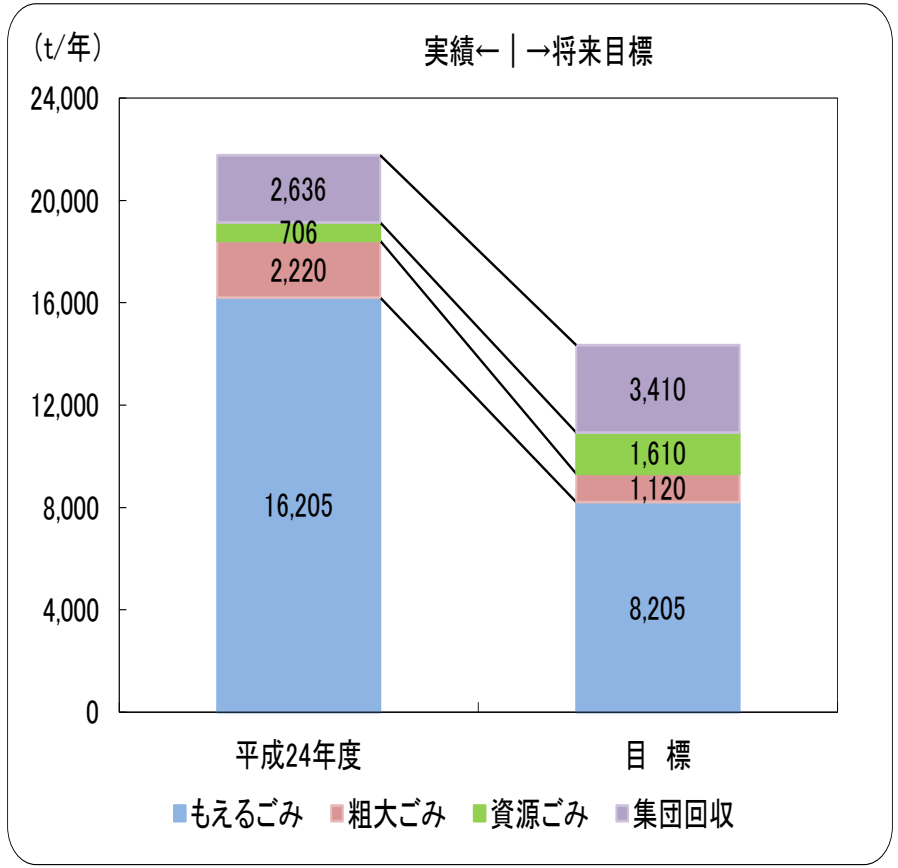
※H29.3 末人口 57,872 人

ごみ処理費用総額	766,270,452 円	（13,241 円/人）
焼却ごみ処理費用	599,272,235 円	（10,355 円/人）
南河内環境事業組合負担金	325,779,177 円	（ 5,629 円/人）
（内訳）		
○施設費〔均等割〕	4,899,000 円	（1.5%）
○施設費〔人口割〕	44,091,000 円	（14%）
◎管理費〔処理量割〕	261,922,000 円	（80%）
◎共通事務費〔管理費割〕	12,847,000 円	（3.9%）
○シール負担金〔枚数割〕	2,020,177 円	（0.6%）

ごみ排出量により増減 ⇨ ***ごみ減量による経費削減！***

5.大阪狭山市一般廃棄物処理基本計画～チャレンジ40～

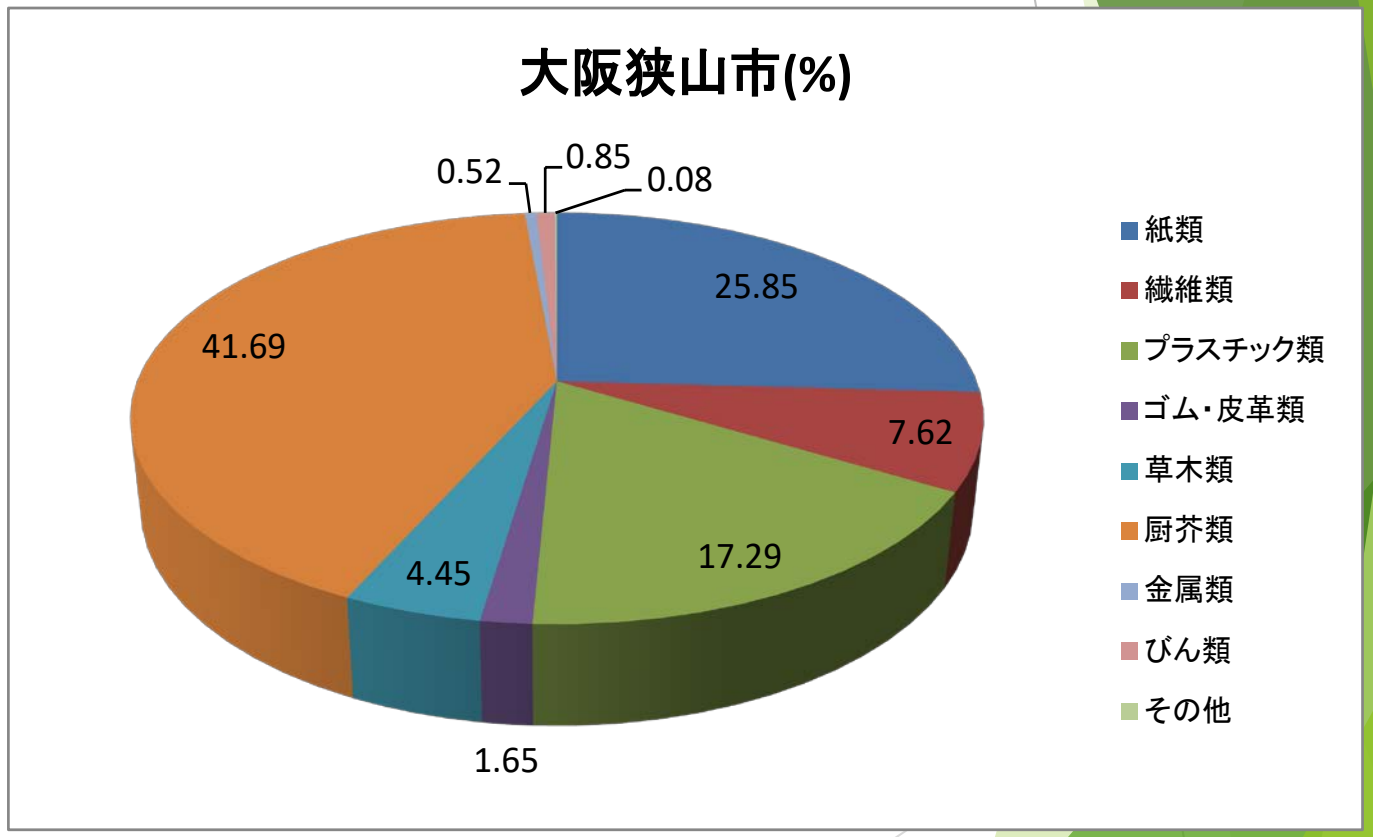
平成40年度に
- ①ごみ排出量　39%削減
- ②リサイクル率　36%達成



方　策	役割及び内容
環境意識の向上	買う前に本当に必要なのかを考え、不要なものを買わない。また、分別の際には識別マークをきちんと確認し、適切な分別を行う。
	身近にできることを自ら選択し関わっていくことで、４Ｒを実践していく。
資源等分別回収の促進	古紙・古布類等については、自治会などの登録団体が行っている集団回収へ出すようにする。
	販売店等で引き取り可能なものは、極力引き取ってもらい、適正なルートでの処理・再生を行う。
	リターナブルビンについては、販売店等に戻すようにする。
	トレイ、牛乳パック等の店頭回収を積極的に利用する。
	市が実施するごみの分別収集に協力し、分別区分ごとの正しいごみの出し方を行う。
生ごみの排出抑制	計画的に食品を購入し、賞味期限内に使い切るようにするとともに、料理は作る分量を工夫するなどしてごみを極力少なくする。
	水切りネットを使用するなどして、ごみ袋に入れる前にしっかり水切りをする。
過剰包装の自粛	シャンプーなどは詰め替え用を利用し、簡易包装に協力する。
	マイバッグを持参し、余計なレジ袋などの過剰包装は断る。
使い捨て製品の使用抑制	使い捨て製品の使用を抑制する。また、できるだけ物を無駄に消費しない生活スタイルを心がける。
再生品、不要品の再使用	日用品は、再生品を使用するように努める。
	フリーマーケットやバザーを活用し、要らなくなったものは必要とする人に譲る。

6.大阪狭山市の組成分析　H24年度

組成分類項目	大阪狭山市(%)	全国平均(%)
紙類	25.85	37.90
繊維類	7.62	3.50
プラスチック類	17.29	10.60
ゴム・皮革類	1.65	1.60
草木類	4.45	1.70
厨芥類	41.69	34.10
金属類	0.52	2.30
びん類	0.85	3.80
その他	0.08	4.50
合 計	100.00	100.00



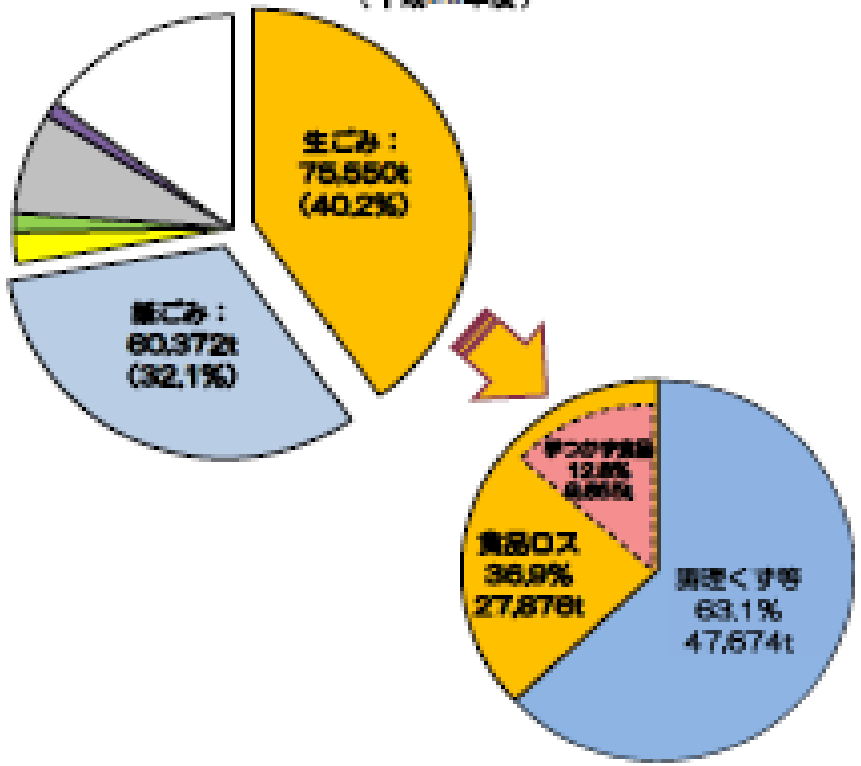
7.京都市の組成分析H27年度

7.京都市の組成分析結果　H27年度

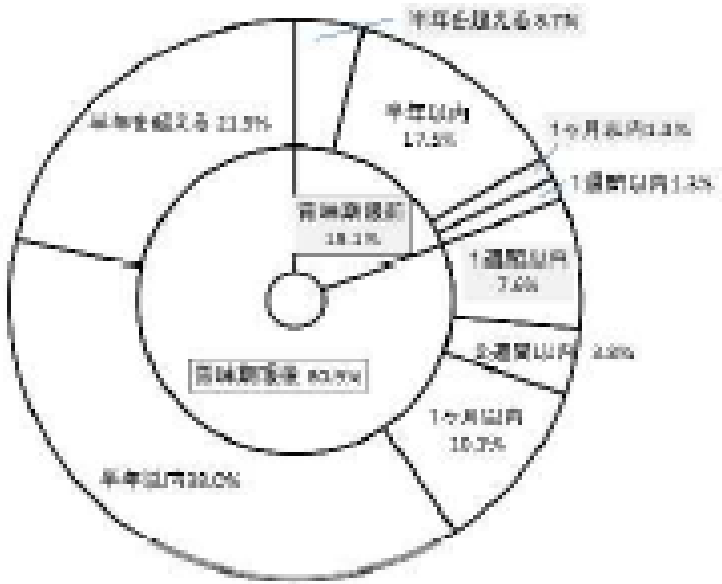
家庭からの食品ロス排出実態

- 燃やすごみの**約4割が生ごみ**で，その**生ごみのうち約4割が食品ロス**
  （食べ残し，手付かず食品ともに，排出割合が最も高い品目は**野菜類**）
- **家庭**から，手付かず食品や食べ残しといった「食品ロス」が**2，8万トン**排出
- 手付かず食品のうち，**賞味期限前のものが約２割**，賞味期限後２週間以内のものも約１割

■ 燃やすごみ（約19万トン）の内訳
（平成28年度）



■ 手付かず食品の賞味期限と排出日（個数ベース）
（平成27年度）



8.食品ロスの現状

▶日本の食品ロスの状況１

- ◆食品ロス量は年間**６４６万トン**(平成２７年度推計)
- ◆毎日大型トラック**１，７７０台分**を廃棄
- ◆年間１人当たりの食品ロス量は**５１Kg**≒年間１人当たりの米の消費量（約５４Kｇ）

日本の食品の実情

食料自給率（カロリーベース）は、**３８％**

廃棄物の処理費用(一般廃棄物処理事業のうち

し尿処理事業を除く)**約２兆円**

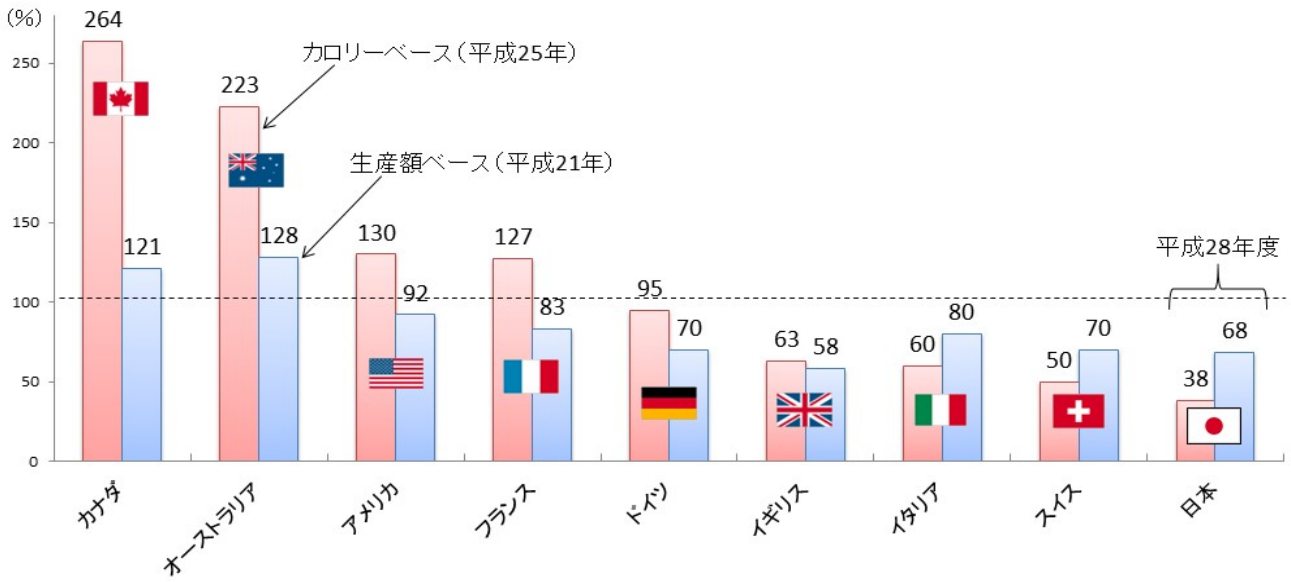
食料の家計負担、食料が消費支出242,425円の**1/4**

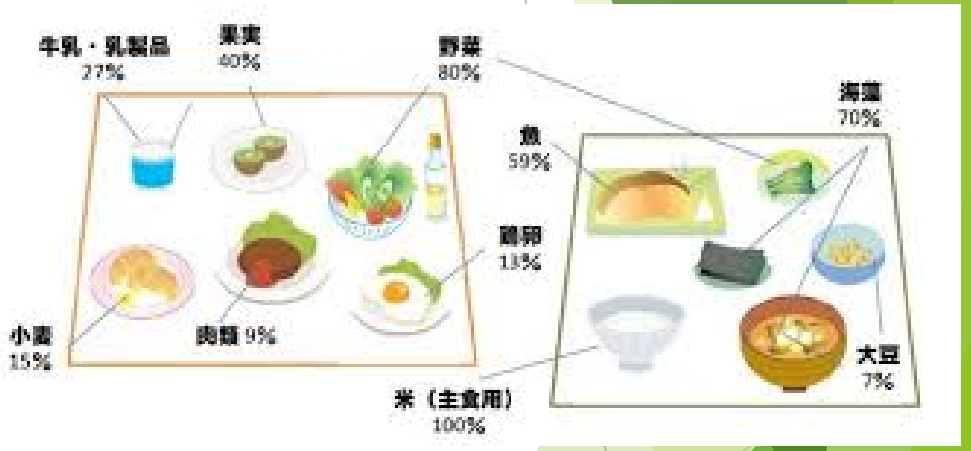
子どもの貧困率(OECDの作成基準に基づいての算出)13.9%で、

７人に１人

食料自給率

先進国と比べると、アメリカ130%、フランス127%、ドイツ95%、イギリス63%となっており、我が国の食料自給率（カロリーベース）は先進国の中で最低の水準となっています。





▶日本の食品ロスの状況２

- 「食品ロス」=本来食べられるのに捨てられる食品
- 食品廃棄物等は**年間2,842万トン**、
  うち食品ロスは**646万トン**
- 食品ロスの内訳は、
  事業系廃棄物が、約357万トン
  家庭系廃棄物が、約289万トン
  半分は、家庭から出される

＊食品廃棄物とは、食品の製造や加工の際に発生する廃棄物、
流通の際に発生する売れ残り、消費などの際に発生する調理くず、食べ残しなど

食品ロスの発生要因

事業系

製造・卸・小売業者

製造・流通・調理の過程で発生する規格外品、返品、売れ残りなどが食品ロスになる

外食事業者

食べ残し量の割合は、

宴会14.2%、披露宴12.2%、食堂・レストラン3.6%

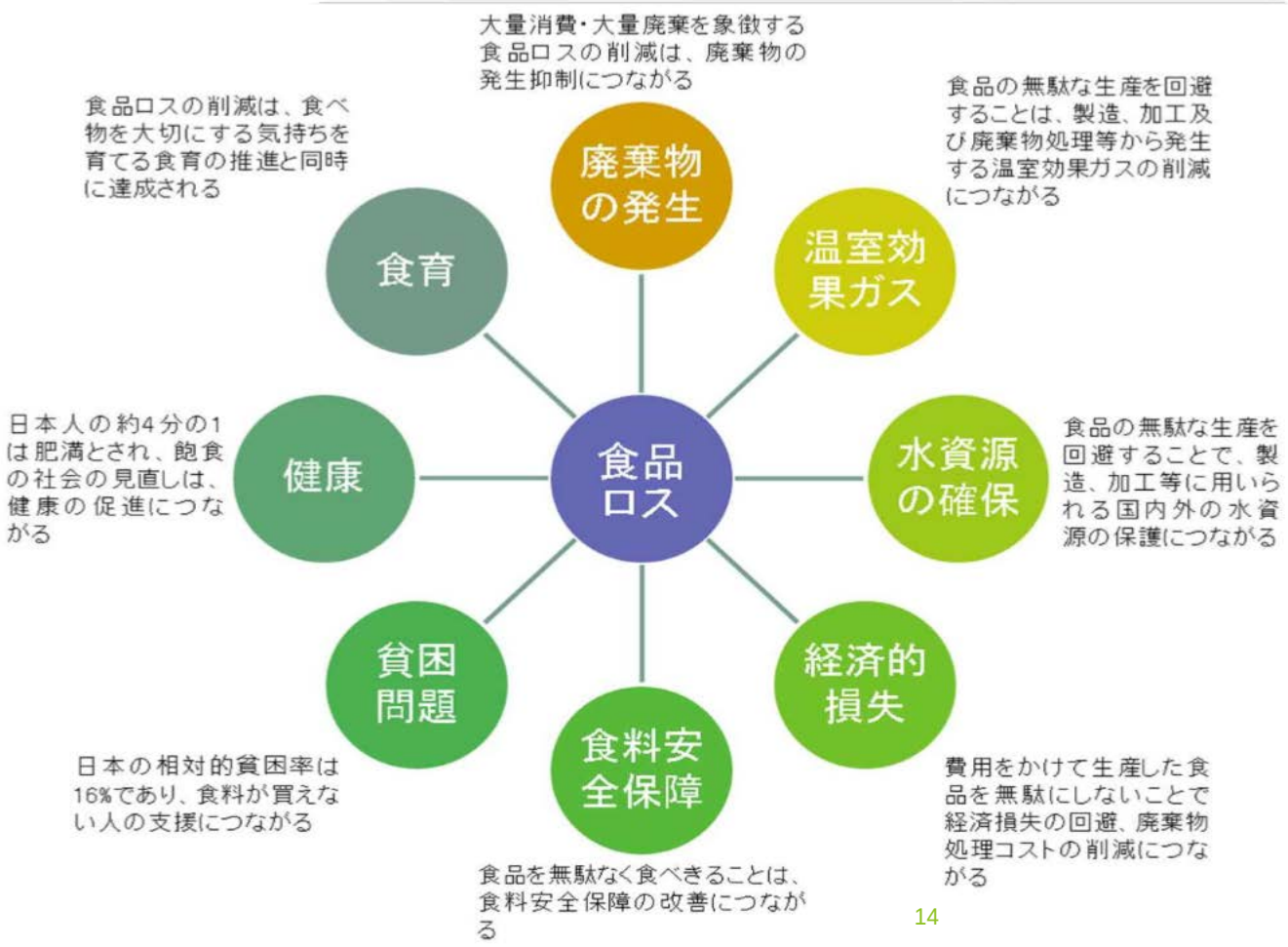
家庭系

家庭から出る生ごみの

10.3%が手つかず食品、13.6%食べ残し

食品ロスを減らすために、私達が出来ること

日本では、毎年約600万トンの食べ物が捨てられており、これは世界の食料援助額の約2倍に当たります。
家庭から出される食品ロス量は、この半分程度、毎年4人家族が6万程度捨てていると見積もられます。
廃られたごみの処理は、さらに税金を使い処理されます。
食品ごみを減らすには、どうすべきか、皆様、何ができるかを考えてください。



9.食品ロス削減に向けた取り組みその１

- 長野県松本市の取り組み

1. 残さず食べよう！3010運動

   会食や宴会で乾杯後の30分間とお開き前の10分間は食事を楽しむこと

2. おうちで“残さず食べよう！3010運動”

   家庭での食品ロスを減らすため、毎月30日に冷蔵庫クリーンアップデー、毎月10日にもったいないクッキングデーを設定。

3. 保育園・幼稚園・小学校3年生を対象に環境教育を実施
4. 「第1回食品ロス削減全国大会~広げよう30･10in松本」開催

9.食品ロス削減に向けた取り組みその2

▶京都市の取り組み

1. 生ごみ3キリ運動使いキリ、食べキリ、水キリ
2. 生ごみ3キリ運動を推進している飲食店「食べ残しゼロ推進店舗」として認定
3. 「京都エコ修学旅行」の実施
4. 地域学習会「しまつのこころ楽考」の開催

   一層2Rに取り組むために、ごみ減量を実践的に取りまとめた「暮の巻」「宴の巻」「旅の巻」を作成
5. 販売期間の延長による食品ロス削減効果に関する調査・社会実験の実施
6. フードバンク等民間団体の活動支援

9.食品ロス削減に向けた取り組みその３

▶横浜市の取り組み

1. 「食」を考えるシンポジューム、上映会、ワークショップを開催
2. 「まるごと旬野菜～使い切りレシピ～」を作成し、小売店とも連携して普及・活用
3. 「冷蔵庫整理収納」「クッキング」など食材の無駄にしないための家庭での実践に役立つ講座を開催
4. 小盛メニューの提供、お持ち帰りの対応など食べ残しを減らす取り組みをしている飲食店を「食べきり協力店」として登録

10. フードバンクとは

- フードバンクとは、「食料銀行」を意味する社会福祉活動で、食品関連企業や量販店、農家、個人などから賞味期限内でまだ食べられるのに商品として流通できなくなった食品の寄贈を無償で受け、食べ物に困っている人や施設などに無償で配布する活動のことをいいます。

- 大阪狭山市では、社会福祉協議会が必要に応じてふーどばんくOSAKAから食糧を受け取り、必要な支援に活用してます。

- 食品ロスや廃棄物の削減にもつながることから、大阪府内でも様々な取り組みが進められています。

ふーどばんくOSAKAとは？

ご存知ですか？ 日本の食事情

食品ロス

安全に食べられるにも関わらず捨てられてしまう食べ物のことです。食品ロスは年間約632万トン（2014年）といわれています。これは、日本に住む人々がお茶碗1杯分の食べ物を毎日捨てている計算になります。

相対的貧困率

子どもの貧困率は13.9%（2015年）で、7人に1人のこどもが、ご飯を3食食べることができない可能性があります。

食料自給率

国内の食糧消費が国産でどの程度まかなえているかを示す指標です。

日本の食糧自給率は39%で、先進国の中でも低い水準にありながら、大量の食品ロスが発生しています。

持続可能な開発目標 SDGsについて

食品損失の減少は世界共通の目標

SDGs（持続可能な開発目標）とは2015年9月に国連がよりよい世界を実現するために採決した「アジェンダ2030」です。

SDGsでは17の目標と169のターゲットが設定されていますが、その12、13に「2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食品廃棄物を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品の損失を減少させる」というターゲットがあります。

ふーどばんくOSAKAはこのSDGs12、13を実現するために貢献していきます。

目標12
つくる責任
つかう責任

目標13
気候変動に
具体的な対策を

ふーどばんくOSAKAの 主な活動

生活困窮者支援

こども食堂支援

イベント・セミナー開催

フードドライブ

・イベント会場などに家庭などで余っている食品を持ち寄って集め、フードバンクに寄贈する活動

家庭での食品ロス削減啓発

・食材使い切りレシピ提案
・食品保存法紹介

企業・行政との連携

・廃棄品引き取り
・社会福祉協議会との連携

ふーどばんくOSAKAとは？

あなたのお力を

募集中！

寄付金を募集中！ 応援団「すけっと」団員も募集中！

頂いていただいた食品を無償で届けるフードバンク活動は収益が生まれません。ガソリン代、食品管理費、事務所経費などみなさんの寄付でまかなわれています。ふーどばんくOSAKAを応援する「すけっと」にご加入ください。

必要な方に送る食品を募集中！

ご寄付いただくのは個人・会社など問いません。少量でも構いませんのでご連絡ください。またフードドライブを実施いただける場所・イベントも募集中です。

あなたの時間を募集中！

あなたの空いた時間でボランティアをしませんか？食品を配送や引き取り、倉庫での梱包し作業などもあります。「いつもありがとう」の言葉に元気をもらえますよ！

TAX 認定NPO法人の税制優遇

・個人が認定NPO法人に寄付をした場合
「寄付金控除」制度が適用され、確定申告をすることで、税金の還付を受けることができます。住民税の納税先自治体の条例次第ですが、40～50％が一部税額の控除の対象となります。

・企業など法人が認定NPO法人に寄付をした場合
「特別協賛入居企業」扱いとなり、一般のNPOと比べ、経費として扱える寄付金の限度額が高くなります。

・相続人が認定NPO法人に相続財産を寄付した場合
寄付をした相続財産は相続税が不課税になります。

連絡先　〒599-8101 堺市東区八下町1-122　大阪食品流通センター内
・TEL　072-258-2201　・FAX　072-275-7753
・http：//www.foodbank-osaka.jp　・e-mail:info@foodbank-osaka.jp

子供の未来応援国民運動

ふーどばんくOSAKA

まだ食べられるのに
捨てられる食品がたくさんあります。
一方で食べ物の支援を必要としている人々がいます。
私たちは心と心でその両者をつなぐ活動をしています。

フードバンクとは、食品関連企業や量販店、農家、個人などから、安全に食べられるにも関わらず捨てられてしまう食べもの各種を無償で受け、食べものに困っている人や施設などに無償で配布する活動のことをいいます。

認定NPO法人 ふーどばんくOSAKA

フードバンクの周知と、地域における食品ロスへの取り組み フードドライブ

分かち合う幸せと安心を届ける「フードドライブ」

◇フードドライブとは、家族であまった食料品や、この先食べないであろう食品（たとえばお歳暮やお中元の贈答品や、つい買いすぎてしまったもの）などを持ち寄り、食料の確保が困難な団体や個人を支援するための活動です。アメリカで１９６０年代からはじまったフードドライブ（food drive）の drive は、この場合は目的を達成するための運動やキャンペーンを指します。

◇みなさまから集められた食品は、おもに生活困窮者の緊急生活支援として、社会福祉協議会や支援団体を通じて、高齢者、DV から逃れた方、シングルマザー / ファザーとその子どもたち、求職者の方、難民の方など、様々な個人の方々への支援に活用させていただきます。

◇皆様の家族から集まった食品によって、食べる喜びや社会とのつながり、安心をも届けられます。「今日食べるものがない」という声にみなさまからの行動で答えてみませんか。

寄付いただきたい食品
：お米・麺類・小麦など
：保存食品　缶詰・瓶詰めなど
：乾物　のり・カットわかめなど
：調味料各種・食用油・めんつゆなど
：インスタント食品・レトルト食品
：ギフトパック・お歳暮・お中元など

食品寄付に関する注意点
①賞味期限が明記され、１ヶ月以上あるもの
②常温で保存可能なもの
③未開封であること
④破損で中身がでていないもの

実施方法
：イベント・お祭りなど、決まった日での実施
：職場・学校などで、期間を定めて実施

フードドライブをご存知ですか？

大阪狭山市人権協会との協力で、人権週間事業の中で、ボックスを設置し、家庭で余った保存食などを集めました。

ふーどばんくOSAKAの紹介パネルを設置して取り組みを広めました。

11.食品ロス削減に向けた取り組み

その4

食品ロス削減レシピの発信

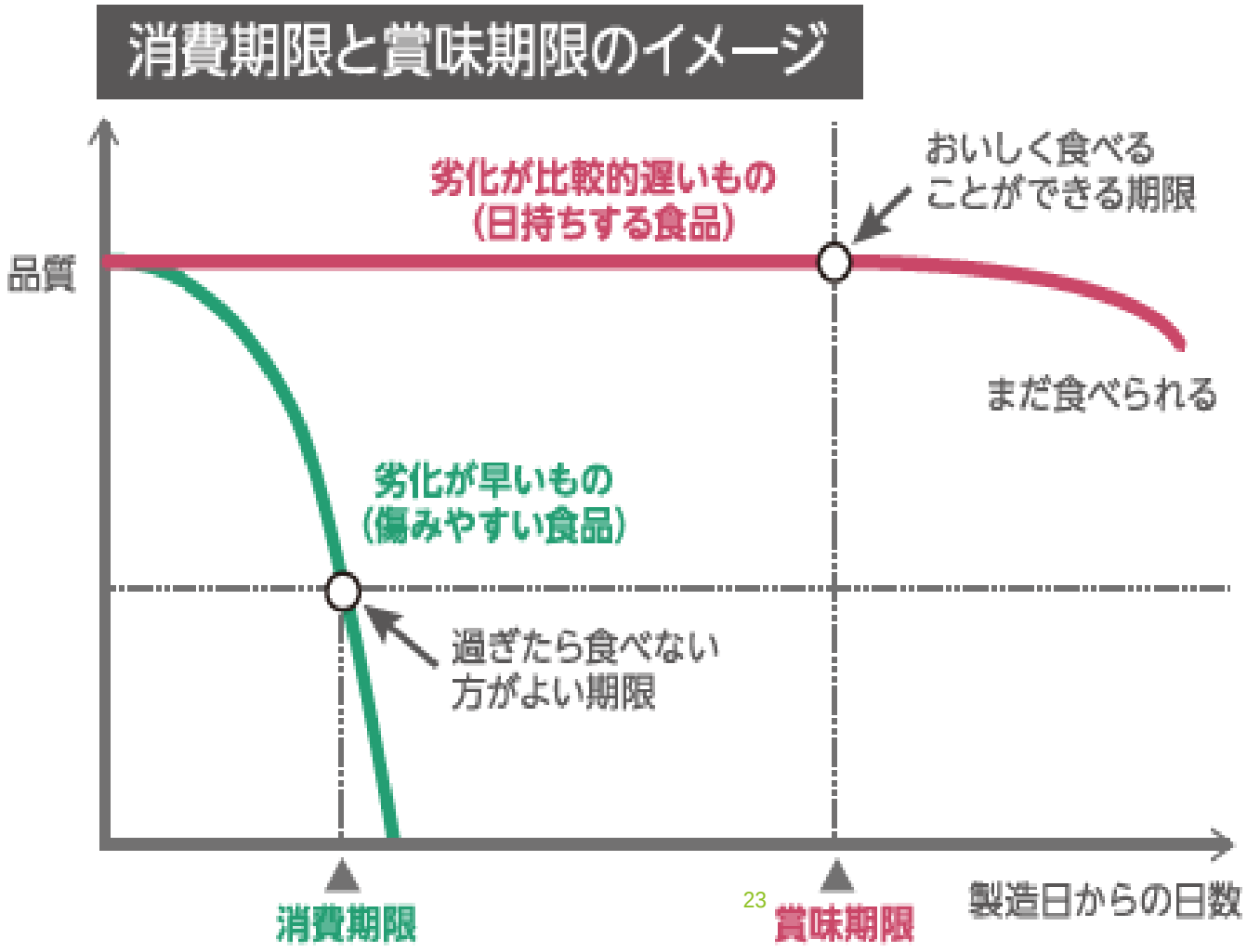
消費者庁のキッチン

12.賞味期限と消費期限

- 賞味期限

  おいしく食べることができる期限

- 消費期限

  食べても安全な期限

消費期限や賞味期限を守っても、開封されたり、保存方法が悪かったりすると腐ってしまいます！